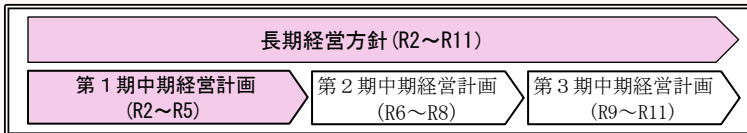


岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）第1期中期経営計画の概要

1 計画期間・取組の重点事項

【計画期間】

4年間（令和2年度から令和5年度）



【取組の重点事項】

長期ビジョンを実現するため、第1期中期経営計画期間中に重点的に取り組む事項

- 電気事業：築川発電所の建設、発電所再開発（稲庭高原風力、胆沢第二、入畑）、耐震化計画の推進、新技術（ドローン等）の活用、売電方法の確立
- 工業用水道事業：新たな水需要に応じた施設・設備の整備、施設の強靱化や適切な保守管理、効率的な経営のあり方の検討
- 組織力向上：人材、有資格者の確保・育成、現場への女性用トイレ等の整備、企業局事業のPR（施設見学会の開催等）
- 地域貢献の充実：小売電気事業者との連携による地域貢献、「水素利活用推進プロジェクト」への参画（いわて県民計画(2019～2028)）



2 経営目標と取組内容

【電気事業】

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

《経営目標》

指標	R2	R3	R4	R5
① 供給電力量 (百万 kWh)	559	536	594	577
② 発電所建屋等の耐震化率(%)	90	100	100	100
③ 電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	73	86	95	100

《具体的な取組》

- 水車発電機の大規模修繕工事(オーバーホール)[仙人、松川等]など防災や減災の観点から踏まえた計画的な修繕・改良
- 電力土木施設の長寿命化対策
 - 定期的な劣化状況調査
 - 劣化状況に応じた対策
- 耐震化計画の推進
 - 発電所建屋等の耐震化工事（4施設）
 - 電力土木施設の耐震診断（12施設）
- 風水害への備え、適切な保守作業
- 新技術の活用
 - ドローンの導入
 - 発電所遠方監視制御装置のIP化[築川]
- 農業用水の安定供給、共同事業者との連携



仙人発電所のオーバーホールの様子



(2) 再生可能エネルギーの維持拡大

《経営目標》

指標	R3～R5
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	12,699

《具体的な取組》

- 築川発電所の建設（R3 運転開始予定）
- 稲庭高原風力発電所の再開発（R3 運転開始予定）
- 胆沢第二発電所の再開発（R8 運転開始予定）
- 入畑発電所の再開発（R7 運転開始予定）
- 新規開発地点の調査、事業可能性の検討



建設中の築川発電所

(3) 経営環境の変化に対応した安定経営

《経営目標》

指標	R2	R3	R4	R5
経常収支比率(%)	122	124	127	124

《具体的な取組》

- 発電所ごとの特性に応じた保守管理の検討
- 地域新電力との協働・連携
- 供給電力量の向上に向けた検討
- 電力の新たな付加価値（非化石価値等）の活用に係る検討
- 売電方法の確立、適正な売電価格の確保

【工業用水道事業】

(1) 良質な工業用水の安定供給

《経営目標》

指標	R2～R5
供給停止件数 (件/年)	0

《具体的な取組》

- アセットマネジメント計画に基づき、防災や減災の観点から踏まえた施設の強靱化
- 安定供給に向けた適切な保守作業及び水質管理
- 河川への油流出等に備えたトラブル対応訓練
- 保守管理の高度化に向けた新技術導入の検討

(2) 新たな水需要への対応

《具体的な取組》

- 水需要に応じた施設・設備の整備
- 県関係部局や関係機関と緊密に連携



新浄水場 完成予想図

(3) 安定的な事業運営

《経営目標》

指標	R2	R3	R4	R5
経常収支比率(%)	100	107	109	69

《具体的な取組》

- 効率的な経営のあり方の検討(水需要に応じた施設規模の検討など)
- 経費の平準化や効率化
- 関係部局等と連携した企業誘致や受水企業への契約水量の維持・増量に向けた働きかけ

【組織力向上と地域貢献】

(1) 組織力向上

《経営目標》

指標	R2	R3	R4	R5	
新規資格取得者数 (人)	第2種 電気主任技術者	2	3	4	5
	第1種 ダム水路主任技術者	0	1	1	2

《具体的な取組》

- 計画的な職員採用、有資格者の確保・育成
- 現場への女性用トイレや更衣室の整備、育休取得の推進
- 防災保安訓練やリスクマネジメント
- 企業局事業の理解促進（施設見学会の開催等）



施設見学会

(2) 地域貢献の充実

《経営目標》

指標	R2～R5
地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t/年)	120以上

《具体的な取組》

- 小売電気事業者との連携による電力供給を通じた地域貢献
 - 電気料金割引
 - 一般会計繰出し
- 地球温暖化防止に向けた取組
 - クリーンエネルギー導入支援事業
 - 植樹活動支援
- 「水素利活用推進プロジェクト」に係る検討への参加や財政支援（いわて県民計画（2019～2028））

3 収支計画

【電気事業】

収益的収支 (単位：百万円、税抜)

区分	R2	R3	R4	R5
収益	6,835	6,991	6,937	6,993
費用	5,609	5,641	5,482	5,619
収支 (経常損益)	1,226	1,350	1,455	1,374

○ 新たな電力供給契約により収益は増加する見込みですが、R4以降は、水車発電機等分解点検補修(オーバーホール)等により修繕費が増加する見込みです。

資本的収支 (単位：百万円、税込)

区分	R2	R3	R4	R5
収入	49	23	23	23
支出	2,430	3,021	2,720	3,336
収支差	△2,381	△2,998	△2,697	△3,313

○ R2以降、発電所の建設や再開発等により、建設改良費が増加する見込みです。
○ 資本的収支の収支差は、損益勘定留保資金等で補填する見込みです。

【工業用水道事業】

収益的収支 (単位：百万円、税抜)

区分	R2	R3	R4	R5
収益	829	921	985	1,033
費用	825	859	901	1,500
収支 (経常損益)	4	62	84	△467

○ 新浄水場建設に伴う減価償却費の増加により、R5以降は一時的に経常損益が赤字となりますが、資産の償却が進むR16以降は黒字となる見込みです。なお、R2以降も将来にわたり、資金残高の不足は生じない見込みです。

資本的収支 (単位：百万円、税込)

区分	R2	R3	R4	R5
収入	3,548	7,124	4,044	832
支出	3,844	7,481	4,409	1,208
収支差	△296	△357	△365	△376

○ 新たな水需要に係る既設設備の改修及び新浄水場建設などにより、R4まで多額の費用が見込まれています。
○ 資本的収支の収支差は、損益勘定留保資金等で補填する見込みです。